



目標達成へ 若者を意思決定の場に

停滞するSDGs トレンドデータを用いたターゲットの評価にもとづく進捗(しんちよく)率



軌道に乗っているターゲットは5分の1に満たず、世界はSDGsの約束を果たせなくなりつつある

- 1 貧困** 2030年には5億9千万人が依然として極度の貧困の中で暮らすことに(今の傾向が変わらない場合)
- 2 飢餓** 現在のペースでは5人に1人の5歳未満児が2030年には発育阻害の影響を受けることに
- 6 水・衛生** 現在のペースでは2030年には20億人が依然として安全に管理された飲料水を利用できないまま暮らすことに
- 12 生産と消費** 世界ではまだ食べられる食料が毎日10億食分廃棄され、その一方で何億もの人々が飢餓に直面したままに
- 13 気候変動** 2023年は観測史上最も暑い年に、世界の平均気温は産業革命以前の水準を1.45度上回る
- 14 海の生態系** 世界の漁業資源の持続可能性が後退 90% → 64.6% → 62.3% (1974年) → (2019年) → (2021年)
- 15 陸の生態系** 世界では小規模農業が主な要因となり森林破壊が進んでいる(60%超)
- 17 パートナリシップ** SDGs達成に向けた前進を加速させるには毎年5千億ドルの刺激策の推進が不可欠

国連「持続可能な開発目標(SDGs)報告2024」から

国連「未来サミット」国際協力で協定

国連は9月22、23日、地球規模の課題に対する国際協力を強化するためにニューヨークの本部で「未来サミット」を開きました。SDGs(持続可能な開発目標)の重要性が改めて確認されるなかで注目を集めたのは、若者の参画です。日本から参加した人たちと課題を考えました。(編集委員・北郷美由紀)



右からJYPSの川和ニコラさん、武田輝幸さん、野田莉々子さん、小野日向汰さん=川和さん提供

「ハワイの高校生やドイツの大学生と自分たちの意見を届ける難しさを話し合ったのは、岩佐教育文化財団の支援で渡航した6人の大学生だ。東北大学4年の川和ニコラさん(21)は、「日本では若い世代が少なく、意見が反映されにくい」ともどかしさを吐露した。持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム(JYPS)で政策提言を担当しているが、省

日本から参加した若者は

「核不拡散条約(NPT)に入っていない核保有国も賛成しており、核軍縮の新しい出発点になる」と評価。若者の参画については「立場や世代を超えてどう協力できるか。大きな宿題をもらった」と話す。実は日本の参加者が困惑する場面もあった。アクションデーの開会式で各国の若者が次々に登壇するなか、日本からはハローキティがビデオ出演したからだ。英語で連帯を呼びかけた姿には大きな拍手が送ら

省庁に提言しても回答なし 「意見反映されにくい」

「省庁から回答をもらったことはない。今後は活動の後押しとなる国連文書を携え、若者の声を政治に反映する活動をする日本若者協議会の委員で早稲田大学4年の芹ヶ野瑠奈さん(20)もその一人。現地からのオンライン報告会で、「私たちも頑張っているので、今度は誰か活躍している若者が登壇してほしい」と述べた。グテレス事務総長が訴える若者の参画による市民社会の強化に呼応した動きも始まっている。139団体に参加するSDGs市民社会ネットワークは23日、オンラインで現地から報告会を開催、川和さんと高橋さんも招いた。川和さんは、若者は「自分たちの席は用意されていない」と感じていると指摘。国際協力NGOセンター理事の若林秀樹さん(70)は「世代間の対話を進めることも大切。互いに学び合いたい、一緒に動いていきたいと思います」と語りかけた。

成果報告する会議 来月9日、配信も

SDGs市民社会ネットワークは未来サミットの成果とSDGsの道筋を考える「マルチステークホルダー未来会議」を10月9日16時半か

「意味のある参画」重要性を強調

未来サミットでは国際協力を強化する56の行動を示した「未来のための協定」が賛成多数で採択された。持続可能な開発と開発のための資金

国際の平和と安全▽科学・技術・イノベーション・デジタル協力▽若者および将来世代▽グローバル・ガバナンスの

変革という5章で構成されて

「国際協力の第1の柱と位置

必要資金を提供することや、ジェンダー平等の実現を

「さらに付属文書として、人工知能(AI)の適切な利用を進める「グローバル・デジタル・コンパクト」、これから生まれてくる人に持続可能な社会を残す「将来世代に関する宣言」も採択された。つけられているSDGsだが、全部で169あるターゲット(小目標)のうち推移を評価できる135項目で軌道に乗っているものは17%しかない。「協定」ではこの遅れを取り戻すために、途上国に必要な資金を提供することや、ジェンダー平等の実現を

ら、東京都中央区築地の朝日新聞社内で開く。登録すれば後日、録画配信も視聴できる。申し込みは9日正午まで、ホームページ(https://www.sdgs-japan.net/single-post/20241009sdgsaction)から。参加は無料。